

知ってる? 摂津の川のこと

兵庫県では「治水・利水」「生態系」「水文化・景観」「親水」を4つの柱として、人と自然が共生する川づくりをすすめています。



生田川 布引五本松堰堤

山陽新幹線新神戸駅の北側の登山道を登っていくと、石張りの堰堤が見えてきます。水道専用の施設として、明治33年(1900年)に完成した「布引五本松堰堤」です。新神戸駅から布引五本松堰堤を経て摩耶山・六甲山に至るハイキングコースになっており、四季を通して訪れる人が多い場所です。また、布引五本松堰堤の手前には、日本三大神滝「布引の滝」もあります。



日本初のコンクリートダムであり、人口が急増する神戸市の衛生環境を大きく改善するとともに、コンクリートダムをつくる技術の発展に大きな影響を与えました。平成18年(2006年)には、国指定重要文化財に指定されました。完成してから100年以上が経っていますが、昭和13年(1938年)の阪神大水害や、平成7年(1995年)の阪神・淡路大震災など、いくつもの試験を乗り越えて、今なおその機能を発揮しています。布引貯水池には、約60万立方メートルの水が貯められています。この量は、神戸市で一日に使われる水の平均的な量になります。

阪神大水害・昭和42年水害

昭和13年7月3日から5日までの3日間の豪雨では、最大24時間雨量327mm、1時間雨量61mmの激しい雨が降りました。摂津地域では洪水や土石流が発生し、死者・行方不明者695人を超える大きな被害を受けました。また、昭和42年7月9日の記録的な集中豪雨では、最大24時間雨量319mm、1時間雨量76mmの激しい雨が降りました。摂津地域では、六甲山系各地で山崩れ、がけ崩れが多発しました。また河川氾濫が発生し、死者・行方不明者98人を超える大きな被害を受けました。



青野川 青野ダムの多自然型魚道

青野ダムは、青野川上流につくられたダムですが、ダムが障害となって、アユやヨシノボリなどの魚類が青野ダムの上流と下流を行きかうことができないという問題がありました。そこで、魚類に配慮するとともに、水生昆虫や底生動物などさまざまな生きものが生息できる豊かな水辺をつくり出すために、日本で最初の「多自然型魚道」をつくりました。青野ダム周辺には、至る所に公園があり、家族連れでにぎわっています。また、バーベキューや釣りが楽しめるなど市民の憩いの場となっています。



注目種 ～生きものを大切にしよう～

川には、さまざまな注目種(絶滅の恐れがあるなど、今後の保全が必要な種)が生息しています。その多くは、かつては普通に見られたものですが、河川改修による生息場所の減少や、外来種の影響などにより、絶滅の恐れがある種になってしまいました。兵庫県では、そのような種に配慮した川づくりをしています。みなさんも川で注目種を見つけたときは、大切に扱きましょう。もちろん、これらの生きものに限らず、川に生息するさまざまな生きものを大切に扱きましょう。ここでは、武庫川、猪名川、明石川に生息している注目種を紹介します。

羽束川等 オオサンショウウオの保護

オオサンショウウオは、国の特別記念物に指定されている貴重な生きものです。兵庫県内では、淡路島以外の主な水系の上流で広く見つかっています。兵庫県では、生息地の確保や工事時の保護対策等に取り組んでいます。オオサンショウウオが川をのぼることを助けるために、コンクリートで作ったますを設置して、川にある落差を解消しました。



住吉川、明石川等 様々な魚道整備

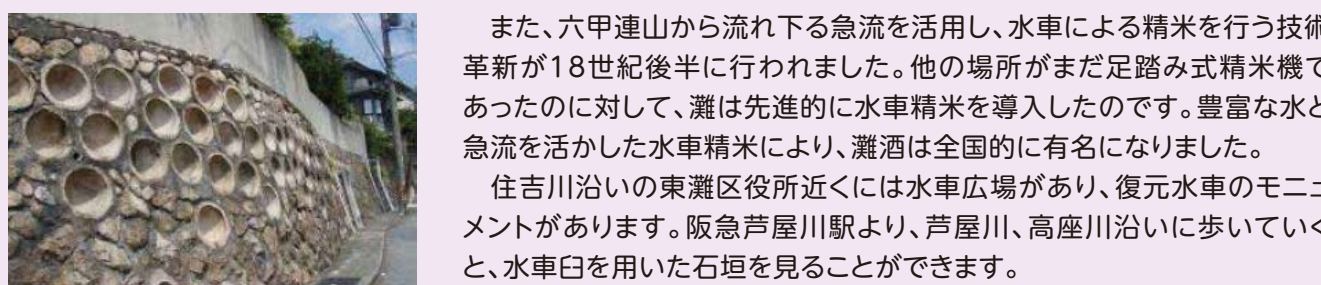
住吉川 天然アユが川をさかのぼることができるように、落差がある所に安価で効果的な「水辺の小わざ魚道」を設置しました。石を組み合わせて魚の通り道をつくる等の工夫を行っています。住吉川では、12箇所(2018年3月時点)に魚道がつけられています。川沿いを歩きながら、探してみてください。

明石川 明石川では、近畿で初めて「ハーフコーン型魚道」を設置しました。コーン(円錐)を半分に切った形の仕切りを配置することから、そのような名称になっています。土砂がたまりにくい構造のため維持管理に負担が少なく、角がないため安全性も高いという利点があります。



灘の酒造りと水車

都賀川や住吉川などの六甲山系の川は、六甲山の豊富な水により、雨が少ない時期でも枯れることなく、きれいな井戸水として湧き出し、酒造りに使われてきました。江戸時代の末期、魚崎村の酒造家が発見した「西宮の水」は、いつの間にか「宮水」と呼ばれるようになり、灘の酒造りに欠かせない水となりました。阪神西宮駅から海岸方向へ向かい、国道43号線を越えたあたりに「宮水発祥之地碑」があり、この周辺の井戸から宮水は湧き出しています。宮水は、発酵を活発にするカリウム等に富んでいる一方、風味や色合いを悪くするといわれる鉄分が少ない水です。また、六甲連山から流れ下る急流を活用し、水車による精米を行う技術革新が18世紀後半に行われました。他の場所がまだ足踏式精米機であったのに対して、灘は先進的に水車精米を導入したのです。豊富な水と急流を活かした水車精米により、灘酒は全国的に有名になりました。住吉川沿いの東灘区役所近くには水車広場があり、復元水車のモニュメントがあります。阪急芦屋川駅より、芦屋川、高座川沿いに歩いていくと、水車白を用いた石垣を見ることができます。



新湊川 近代土木遺産湊川隧道

明治29年(1896年)の大水害を契機として湊川の付け替え工事が始まり、標高85mの会下山の下に河川トンネルとして「湊川隧道」が造られました。平成7年(1995年)の阪神・淡路大震災で一部が崩落したことから北側に新しいトンネルが建設されたことで、平成12年(2000年)に約100年間に及ぶ河川トンネルとしての役目を終えています。その後は、近代土木遺産としての価値があることから、見学会やミニコンサートの開催等に活用されています。阪神・淡路大震災では、トンネルの呑口と吐口も壊れてしまいました。復旧にあたっては、元のデザインを復元できるように配慮しました。



武庫川 髭の渡しコスモス園

江戸時代に西国街道の武庫川を渡る際、行者堂付近に渡しがあり、明治42年(1909年)に甲武橋が架かるまで渡しは続けられました。近くにある茶屋の主人の顔にちなんで「髭の渡し」と呼ばれたそうです。ゴミの不法投棄などで一時は荒れていましたが、地元住民が中心となる市民Pムーブやボランティアの活動により、「武庫川髭の渡しコスモス園」として生まれ変わりました。

都賀川等 防災ふれあい河川

阪神・淡路大震災時に、都賀川の水が消火用水や生活用水として利用されました。被災地となった神戸市域には、多くの中小河川が流れていますが、震災時に活用された川はごくわずかでした。都賀川では、所々に階段が設置されていたので人々が容易に川に降りることができ、魚道用の隔壁が水を貯めるプールの役目を果たした等の理由から、近隣住民に大いに利用されたと言われています。このことをきっかけに、都市河川の重要性が再認識され、「防災ふれあい河川」の整備を進めることとなりました。

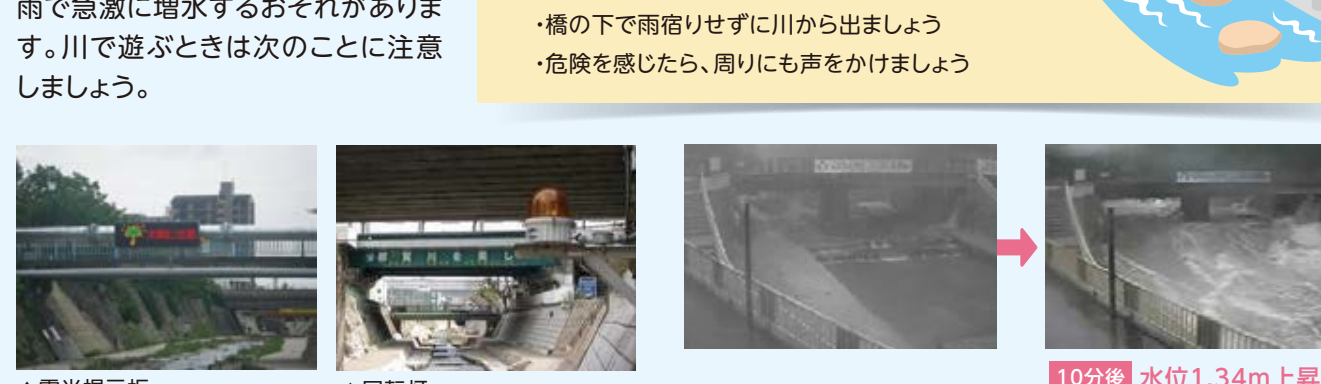
ふるさと桜づつみ回廊

川を身近な自然として愛し、安全で美しい県土を創出するとともに、地域交流を深めてもらいたいという願いを込めて、平成3年度から平成12年度にかけて、瀬戸内海から日本海を結ぶ延長約170kmの河川沿い(武庫川～篠山川～加古川上流～円山川)を約5万本の桜でなぐさる桜づつみ回廊を整備しました。摂津には、地域住民の憩いの場、地域交流の場として、桜の名所「ただけお」を設けています。

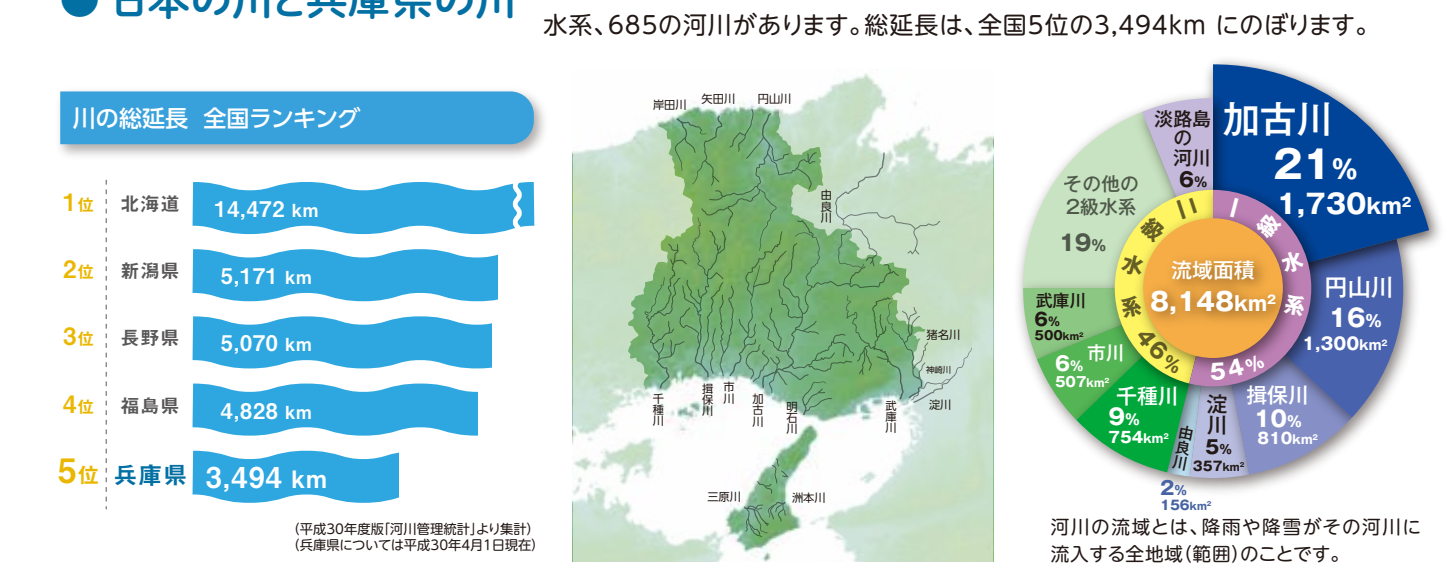


急な増水に注意しよう

平成20年(2008年)、都賀川において突発的で局地的な集中豪雨が発生し、急激な水位上昇によって、児童ら5名の人命が奪われるという水難事故が発生しました。この事故を受けて、雨が降ると急に水位が上がる危険性を持っている表六甲河川を中心に、大雨洪水注意報及び警報の発表と連動して回転灯が作動する増水警報システムの整備や、電光掲示板、注意喚起看板の設置を進めました。都賀川をはじめとする表六甲河川は、晴れていても上流の局部的な雨で急激に増水するおそれがあります。川で遊ぶときは次のことに注意しましょう。



兵庫県の川



●兵庫県の川の特徴 兵庫県は、約8割が山地で、中央部からやや北よりを中国山地が東西に走り、県土を南北に二分しています。そのため、日本海へ注ぐ川と瀬戸内海へ注ぐ川があります。一方、明石海峡を隔てた淡路島では、南北に山地が走り、東西方向に川が流れています。日本海側と瀬戸内海側では気候が異なり、広い県土にはいろいろな地形が広がっていて、川の表情もさまざまです。

ダムカードを集めてみよう

ダムのことをより知っていただくために、ダムカードを配布しています。ダムカードには、ダムの大きさ、高さに加え、豆知識や、工事の際に工夫したことなどの情報を記載しています。配布場所は、市役所、県土木事務所や、現地のダム管理所などです。詳しくは県HPへ https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks12/wd16_000000067.html ※兵庫県土木整備部管理ダムのみ QRコードはこちら

川に入ってみよう

●生きものを探すポイント

探す場所	見つけるコツ
魚類 <ul style="list-style-type: none">水際の植物の間石と石の間や岩陰	<ul style="list-style-type: none">水中メガネや箱メガネで川の中を見るタモ網で探す
底生動物 <ul style="list-style-type: none">小石の裏やすき間水際の植物の間や砂の中や落葉	<ul style="list-style-type: none">箱メガネで川の中を見る網目の小さいタモ網で探す

●準備するもの

- 虫除け、日焼け防止に長袖、長ズボン
- すべりにくい靴
- 水分補給の水筒

●川を利用するときのマナーとアドプト

ごみは持ち帰り、いつでもきれいな川を保つことができるようにしましょう。兵庫県では、水が管理する河川等において、みなさんがボランティア等(清掃美化活動)を行う際に、県・市町が用具の提供等を行い支援する制度「ひょうごアドプト」があります。さまざまな人の活動によって、兵庫県の川はきれいに守られています。

防災情報の入手

豊かな風景を生み出す川も、大雨の時には非常に危険です。平常時も洪水時も防災情報を確認しておきましょう。

- 兵庫県CGハザードマップ** <http://www.hazardmap.pref.hyogo.jp> 避難所の場所や浸水想定区域、過去の浸水実績範囲などを見ることができます。
- ひょうご防災ネット** <https://bosai.net/> 兵庫県の市町ごとにホームページのサイトがあり、緊急時に情報を入手することができます。
- 河川監視システム** <http://hyogo.rivercam.info/index.html> 河川に設置された監視カメラの映像を確認できます。大雨のときは水位を確認しましょう。
- フェニックス防災システム** <http://hyogo.bosainfo.jp/mobile/> 兵庫県の気象情報を入手できます。
- 増水警戒情報** 河川内に観水施設を有し、急激に水位上昇が見込まれる20河川118箇所に大雨・洪水注意報/警報の発表と連動して作動する回転灯を設置し、河川利用者への注意喚起を図っています。
- 増水警戒情報の提供河川**

表六甲河川(13河川)	都賀川・住吉川・石屋川・生田川・宇川・宇治川・新湊川・石井川・天井川・勢法寺川(神戸市)・東川・尻川(西宮市)・芦屋川(芦屋市)
その他の河川(7河川)	有馬川・福田川・山田川(神戸市)・天神川(宝塚市)・天王寺川・駄六川(伊丹市)・朝霧川(明石市)